

## 第6学年の実践（国語・総合的な学習の時間）

### 1 単元名 投書デビューをしよう

「新聞の投書を読み比べよう」（東京書籍 6年）

### 2 単元のねらい

- 投書の特徴をとらえ、進んで書き手の意見や理由づけの工夫を読み取り、投書を書く時に活かそうとする。 【関・意・態】
- 投書の構成、理由や根拠の挙げ方に気を付けて読み比べ、書き手の工夫をとらえることができる。 【読むこと】
- 自分の考えが読み手に伝わるように、意見や理由を明確にして投書を書くことができる。 【書くこと】
- 投書の文章の構成や書き方を理解する。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

### 3 情報リテラシーの指導の観点

K まとめ（投書の書き方）

### 4 単元設定の理由

#### （1）本単元で身に付けさせたい力について

本単元では、C読むこと（1）イ「目的に応じて本や文章を比べて読むなど、効果的な読み方を工夫すること」を受けて設定したものである。また、言語活動例（2）「イ 自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用すること」を受け、新聞の投書を読み比べることで、文章の構成や書き手の工夫を読み取ることをねらいとしている。

投書とは、「自分の主張・意見を人に理解してもらうために書かれた文章」である。伝えたいことが明確であり、字数も制限されているので、読むことが苦手な児童も比較的読みやすい文章である。また、読み手に意見が伝わるよう、書き手がどのような工夫をしているかを読み取ることは、これから自分が文章を書く際の手立てとなると考える。

なお、B書くこと（1）イ「自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること」および、エ「引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと」の指導については、9月「資料をいかして呼びかけよう」の単元で改めて学習する予定である。

#### （2）児童について

（略）

#### （3）指導にあたって

#### ゴールの設定

一次では、「投書」に興味をもたせるために、実際の新聞から投書欄を探す活動をおこなう。他の記事との違いを考えさせることで、読者が参加できる場であることに気付かせたい。そして、小学生でも投書を出せることを知らせるために、実際の新聞に掲載された小学生の投書（山陰中央新報ヤングこだま「ゴミ問題」H29,10,7、「シカと人間の共存」H30,4,1）を紹介する。そして、自分たちも投書を書いて新聞社〔山陰中央新報「ヤングこだま」400字～600字程度〕に送るというゴールを設定することで、目的意識をもって学習に取り組ませたい。

#### 読み比べる活動

二次で教科書教材の投書について、構成や書き手の意見、工夫を読み比べる活動では、文章構成に共通点があることを学ぶ。その際、段落や内容のまとまりによって色分けをすることで、4つの投書

の特徴や相違点に気付かせるようにしたい。気付かせたい共通点と相違点は、以下の2点である。

①全体の文章構成

話題提示 → 書き手の主張や意見 → 理由や根拠 → 反対意見に対する反論  
→ 書き手の考え（まとめや最後の一言）

②理由付けや根拠の挙げ方（書き手の工夫）

- A 自分の経験を入れる
- B 見たり聞いたりしたことを入れる
- C 資料に基づく数値を入れる
- D 有名な人の言葉を引用する

それぞれの投書にこの4つの工夫がされていることに目を向けさせ、投書を書く際のポイントとして、次時につなげていきたい。

**総合的な学習の時間と関連させたテーマで投書を書く**

投書を書くにあたっては、何について書くのかというテーマが大切になってくる。本単元は児童が投書を初めて書く単元なので、各自が生活の中からテーマを見つけるのではなく、学習で扱った共通な内容をテーマにして投書を書くことにする。

児童は、1学期の総合的な学習の時間で平和学習 part 2 を行っている。平和学習 part 1 では、昨年度5年生時に複式学級で、6年生の平和学習に合わせてブックトークを聞いている。そして、戦争や広島原爆について関連した本を読んだり、平和学習で学んだことを6年生と協力して学習発表会で発表したりしてきた。そこで、平和学習 part 2 では、「平和」というキーワードからマッピングを行い、日本と他国、または他国同士のつながりについて出てきた項目を「外国とのつながり」というテーマでくくった。その中から知っていることや調べてきたことを出し合い、さらに興味をもったことを新聞や雑誌、町報などの資料やインターネットなどを使って調べている。

他教科との関連でも、今年度から外国語活動が週2時間になり、外国のことについて学ぶ機会が増えている。また、折しも校内でアメリカの高校生との交流会があったり、ニュースでは米朝首脳会談に関する話題が取り上げられたりしている。

このように、「外国とのつながり」についてはたくさん話題があるので、それぞれが選んで自分の意見や理由が書きやすく、体験したことや新聞・ニュースなどから見聞きした情報は、投書を書く際の工夫に取り入れやすい題材であると考えた。

5 モデルカリキュラム \*別紙参照

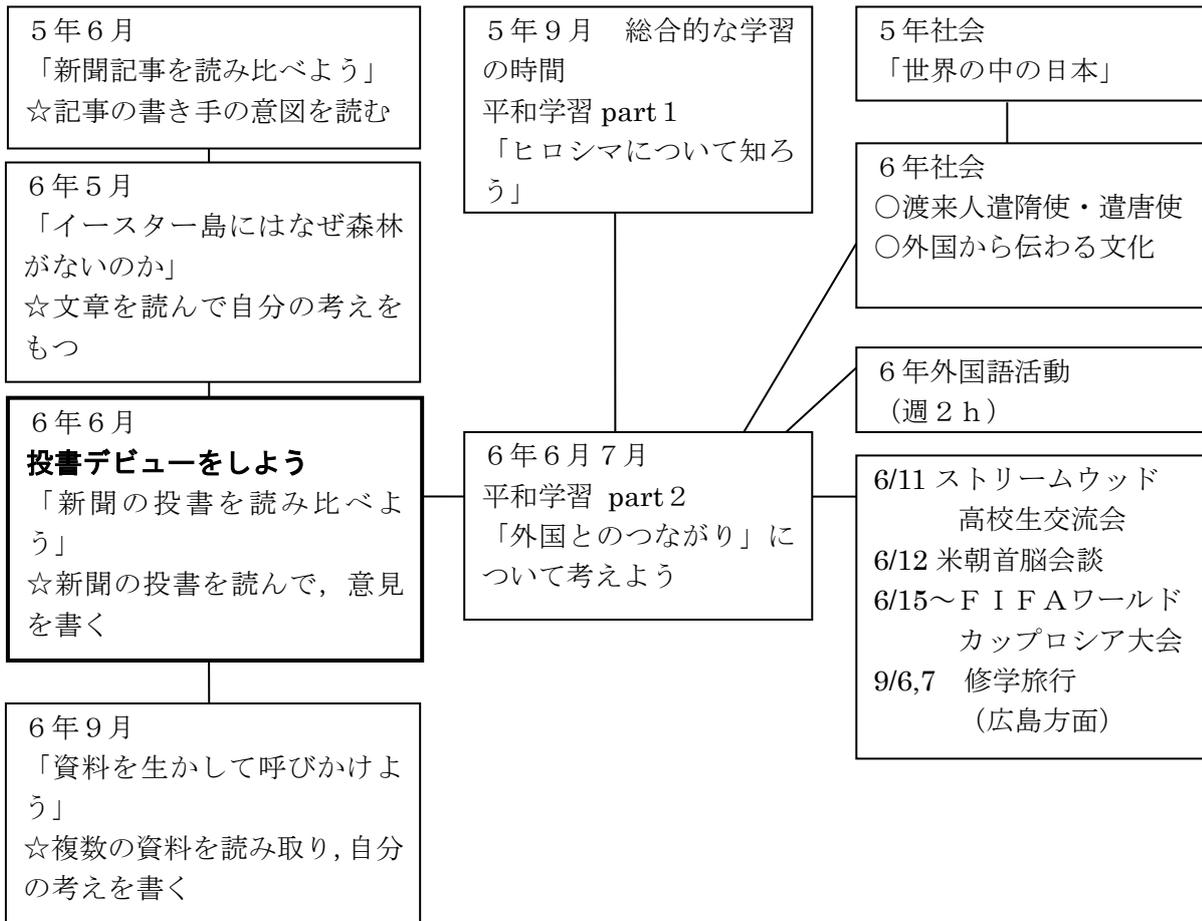
5 モデルカリキュラム 第6学年（国語・総合的な学習の時間）

指導時期	国語（8時間）			学校図書館活用（〇担任◆司書教諭〇学校司書）			総合的な学習の時間（10時間）		
	学期	月	めあて・単元目標	情報リテラシー観点	活用場面・方法	活用する資料等	学習活動の概要	めあて・単元目標	単元
1	6	投書デビューをしよう（8時間）	<p>○投書の特徴を伝え、進んで書き手の意見や理由づけの工夫を読み取り、投書を書く時に活かそうとする。 【関・意・趣】</p> <p>○投書の構成、理由や根拠の挙げ方に気を付けて読み比べ、書き手の工夫を伝えられることができる。 【読むこと】</p> <p>○自分の考えが読み手に伝わるように、意見や理由を明確にして投書を書くことができる。 【書くこと】</p> <p>○投書の文章の構成や書き方を理解する。 【広国事項】</p>	<p>A課題設定・学習計画</p> <p>B新聞、電子メディア情報の取り出し</p> <p>B課題設定・学習計画</p> <p>C情報の整理</p> <p>D情報の整理</p> <p>E情報の整理</p> <p>F情報の整理</p> <p>G情報の整理</p> <p>H情報の整理</p> <p>I発表・交流</p>	<p>○マッピングイメージを広げる。（個人→全体） ◆ブックトークをして、図書資料に興味をもたせる。</p> <p>（個別学習→全体学習）</p> <p>○新聞の中から投書欄を見つけて、投書とは何かを知らせる。 ◆他校の児童が書いた投書を紹介する。</p> <p>（個別学習）</p> <p>◆投書を書く時の注意点を伝える。</p> <p>○ワープロソフトを使って、行数・字数などを設定して打つ。</p>	<p>平和に関する図書</p> <p>世界地図、地球儀、新聞、雑誌、本</p> <p>山陰中央新報キングこども</p> <p>世界地図、地球儀、新聞、雑誌、本</p>	<p>1 「平和」をキーワードにマッピングを行い、ブックトークで興味関心を広げる。（2時間）</p> <p>2 「外国とのつながり」で、自分が知っていること、見つけたことを友達に伝え合う。（2時間）</p> <p>3 興味をもったことの中から個人の課題、投書に書くテーマを決定し、くわしく調べ。（3時間）</p> <p>4 自分の考え、理由、まとめを考える。（1時間）</p> <p>5 ワープロソフトを使って、文章を打つ。（2時間）</p>	<p>○昨年度の平和学習を土台として、「外国とのつながり」という観点から日本と他国、他国同士のつながりについて調べ、文章にまとめることができる。</p>	<p>平和学習 part 2 「外国とのつながり」（10時間）</p>

6 他教科等との関連

【国語】

【他教科・領域・出来事など】



7 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語についての 知識・理解・技能
○ 投書の特徴をとらえ、進んで書き手の意見や理由づけの工夫を読み取り、投書を書く時に活かそうとしている。	○ 投書の構成、理由づけの仕方や根拠の挙げ方に気を付けて読み比べ、それぞれの書き手の工夫をとらえている。	○ 自分の考えが読み手に伝わるように、意見や理由を明確にして投書を書くことができる。	○ 投書の文章の構成や書き方を理解している。

8 単元の指導計画と評価計画（全8時間）

次	時	主な学習活動	教師の支援と留意点 (○担任◆司書教諭◇学校司書)	評価規準
一 次	1	<b>新聞の「投書」について知り、学習の流れをつかもう。</b> ①実際の新聞の投書を読み、投書とは何かを知り、学習計画を立てる。	◆新聞の中から投書欄を見つけさせ、投書とは何かを知らせる。 ◆他校の児童が書いた投書を紹介する。 ○学習の流れを確認し、最後に一人一人が投書を書いて新聞社に送ることを知らせる。	<b>【関】</b> 新聞の投書に関心を持ち、投書を進んで読もうとしている。 (発言・観察)
	2 3 4	<b>書き手の意見や書き方の工夫を見つけよう。</b> ②③ 教材文の4つの投書について構成や書き手の意見を読みとり、書き方のポイントをまとめる。 ④4つの投書の中から、自分が一番納得したものを選んで理由をまとめ、伝え合う。	○段落の構成を確認し、視覚的に特徴をとらえられるように、色分けをする。 ・書き手の意見、まとめ：赤 ・理由や根拠：黄 ・反対意見に対する反論：青 ○理由や根拠の挙げ方をどのように工夫しているか見つけ、表にまとめる。 ○投書を比べながら読み、意見を確認したうえで、1つの投書を選ばせる。	<b>【読】</b> 投書の構成、理由づけの仕方や根拠の挙げ方について読み比べ、書き手の工夫をとらえている。 (ノート・発言) <b>【読】</b> 書き手が納得しようとしていることを読み取り、それに対する自分の考えを明確にしている。(ノート・発言)
三 次	5 6 7 8	<b>投書を書こう。</b> ⑤投書に書く内容と工夫を考える。 ⑥⑦考えた構成をもとに、400～600字程度で投書を書く。 ⑧書いた投書を推敲し、友達と読み合って感想を伝える。	○構成や工夫を明確にするためのワークシート（構成メモ）を用意する。 ◇新聞記事や必要な資料を児童と一緒に探す。(総合) ○友達同士で相談したり、推敲したりできるようにペアで活動させる。 ◆投書の書き方、気を付けることを説明する。	<b>【書】</b> 読み手を納得させる工夫を考えて、構成メモを書いている。(ワークシート) <b>【書】</b> 投書の書き方がわかり、決められた字数内で投書を書いている。 (ワークシート)

9 本時の学習（5／8時）

(1) ねらい

○ 読み手を納得させる工夫を考えて、構成メモを書くことができる。

**【書くこと】**

(2) 本時の展開

学習活動	支援や指導上の留意点 (○担任◆司書教諭◇学校司書)	☆評価
<p>1 本時の学習のめあてと学習の流れを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">読み手を納得させる工夫を考えて、構成メモを書こう。</div> <p>2 グループ（3～4人）で自分の考えを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選んだテーマ，自分の意見，理由</li> <li>・どの工夫を使うのか</li> </ul> <p>(A経験，B見聞，C数値，D名言の引用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりにくいところは質問をする。</li> </ul> <p>3 構成メモの書き方について確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書きやすい所から書いてよい。</li> <li>・「話題の提示」は，実際にあったことや見聞きしたことを書くので，総合ファイルを活用する。</li> <li>・「理由2」や「反論に対する意見」は省略してもよい。</li> <li>・困った時はグループで相談する。</li> </ul> <p>4 構成メモを書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話題の提示</li> <li>・自分の意見</li> <li>・理由①②</li> <li>・反論に対する意見</li> <li>・まとめ</li> </ul> </div> <p>5 ふり返りをし，次時の活動内容を確認する。</p>	<p>○前時に学習した読み手を納得させる工夫について確認する。</p> <p>○◆◇総合的な学習の時間の時間に，誰が何についてどんな意見を書こうとしているか把握をし，使えそうな資料について把握しておく。</p> <p>○構成メモに書く前に自分の考えを口にしてみることで，考えを明確にする。また，困った時にグループの友達に相談しやすくする。</p> <p>○読み手を納得させる工夫として，自分はA B C Dのどれを取り上げているのかを意識させる。</p> <p>○◆◇「話題の提示」を書く際には，資料を効果的に使うことを知らせる。</p> <p>○◆◇なかなか書けない児童には，対話をしながら思いや考えを引き出すが，なるべくグループでの関わりを大切にする。</p> <p>○◆◇早く書き終わった児童には，構成メモを読み返したり，グループの友達にアドバイスをさせたりする。</p>	<p>☆自分の意見・理由を明確にしている。【観察】</p> <p>☆読み手を説得する工夫(A～Dのどれか)を取り入れているか。 【ワークシート・観察】</p>

(3) 本時の評価

	A 十分満足できると判断される児童の具体例	B おおむね満足できると判断される児童の具体例	⇒支援を必要とする児童への指導の手だて
書く能力	<p>◎ 読み手を納得させる工夫A B C Dを意識して，構成メモに書いている。</p> <p>【ワークシート・観察】</p>	<p>○ 「話題提示」「自分の考え」「理由」「まとめ」を構成メモに書いている。</p> <p>【ワークシート・観察】</p>	<p>・構成メモを書くことができない。</p> <p>⇒対話をしながら，考えを引き出すようにする。</p>

(4) 視点

- ① 総合的な学習の時間と関連させて投書の学習をしたことは、効果的であったか。
- ② グループトークは、本時のめあてを達成するのに効果的であったか。
- ③ 担任・司書教諭・学校司書の三者による連携が図れていたか。

10 次時の学習（6・7時／8時）

(1) ねらい

投書を書く時の注意点を意識して、投書の文章を書くことができる。 【書くこと】

(2) 本時の展開

学習活動	・支援や指導上の留意点 (○担任◆司書教諭◇学校司書)	☆評価
1 本時の学習のめあてを確認する。	○学習の流れが分かるように、模造紙等を掲示しておく。	
投書を書く時の注意点を守って、投書の文章を書こう。		
2 投書の書く時の注意点を確認する。	◆投書を書く時の注意点を説明する。 ・意見を絞る ・引用する場合は出典・出处を明らかにする ・誹謗，中傷はさける ・難しい漢字や当て字はなるべく使わない ・わかりやすい表現を心がける (1行を短くする) ・常体か敬体か，そろえる など	☆構成メモをもとに，注意点到気を付けて文章を書いている。【原稿用紙】
3 投書の下書きを書く。	○◆なかなか書けない児童には，構成メモをもとに声をかける。 ○まずは，字数を気にせずに書いてみて，それから推敲していくようにする。	☆よりよい文章にしようと推敲している。【発言・観察、原稿用紙】
4 友達と交流し，助言をもとに推敲する。		
5 ふり返りをする。		

(3) 本時の評価

	A 十分満足できると判断される児童の具体例	B おおむね満足できると判断される児童の具体例	⇒支援を必要とする児童への指導の手だて
能力	◎投書を書く時の注意点を守って，わかりやすい文章を書いている。 <span style="float: right;">【原稿用紙・発言】</span>	○投書を書く時の注意点を守って文章を書いている。 <span style="float: right;">【原稿用紙・発言】</span>	・文章が整っていない。 ・注意点が守られていない。 ⇒対話をしながら，どこがおかしいか考えさせる。

## 【授業の実際】

### ①本時まで

#### 総合的な学習の時間での情報収集・テーマ選び(総合)

本単元は、総合的な学習の時間での平和学習（調べ学習）とタイアップして行った。

まずは、児童が外国に関係する話題についてどれくらい知っているのを把握するために、自分が知っていることを付箋に書き、世界地図に貼りながら発表させた。ニュースをよく見聞きしている児童が多く、「米朝首脳会談」「南北首脳会談」「竹島」「ストリームウッド高校生との交流」などという話題が出てきた。世界地図に貼る時に自分が知っている情報をみんなに伝えることで、そのことについて知らない児童も友達の話聞いて興味をもつことができた。また、わからないことがあると、「それってどういうこと？」と質問し、他の児童が答えていた。児童の中からもっと他にないか調べたいという声があがり、次時から新聞、雑誌などから気になった話題を見つけて、それをみんなに紹介することにした。自分が知らないことを友達が簡単に紹介してくれるので、興味をもって聞くことができた。



情報収集にあたっては、司書教諭、学校司書とともに、前もって使えそうな資料を集めておいた。また、話題に出てきたことについて書かれている記事も集め、付箋を貼って児童の目に触れるようにした。社会的内容が多かったが、子ども新聞や子ども用雑誌には写真やグラフなどが多く取り入れられわかりやすく書かれており、興味をもって読み進めることができた。また、これまでの学習で情報カードに書くことにも慣れており、次時に発表することを意識してまとめている児童も見られた。



調べた日 20年 6月 18日		
核を持っているのは9か国		
調べ 核を持っているのはアメリカ、ロシア、フランス、中国、イギリス、インド、イスラエル、北朝鮮の9か国。アメリカとロシアが占めている。おおよそ15400発の核兵器がある。		
調べた日 20年 6月 12日		
TPP参加国は？		
調べ ベトナム、シンガポール、チリ、オーストラリア、日本、カナダ、ブルネイ、マレーシア、メキシコ、カ osta、ペルーか国です。		
書名	著者名	発行所(出版社)
Newsがわかる	1月号	
アドレス		

#### 投書との出会い(国語)

導入時に「投書」を知っているか尋ねると、「お年寄りが新聞に書いておられるやつだと思う。」という声が返ってきた。また、新聞に目を通す時に投書を目にすることはあっても、実際に読んだことがある児童は少なかった。そこで、過去に掲載された小学生の投書を山陰中央新報さんをお願いして送っていただき、小学校6年生が書いた投書(新聞)を各自に配布したところ、興味をもって読み進めることができた。また、投書は小学生でも出すことができ、しかも掲載されると図書券がもらえることがわかり、本単元に意欲的に取り組むようになった。

## 教材文を読み比べる活動(国語)

スポーツについて書かれている教材文は児童にとって身近な内容でもあり、興味をもって読み進めることができた。そして、形式段落に分けて内容別に色分けして見ると、次の投書も同じような構成になっていることに気付くことができた。6つの段落の役割を考える時、児童は文末表現やつなぎの言葉に着目していた。そこで、文末表現やつなぎの言葉の大切さを伝え、下記のようにまとめたものを提示した。実際に自分たちが投書を書く際に、これを見ながら書く姿も見られた。

### 書いてみよう・使ってみよう！〔文末表現・つなぎの言葉〕

#### 事 実

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| ・・・である。です。       | ・・・だった。でした。     |
| ・・・をした。をしました。    | ・・・ている。しています。   |
| ・・・が分かった。分かりました。 | ・・・体験した。体験しました。 |
| ・・・行われた。行われました。  |                 |

#### 意 見

- |                         |                     |
|-------------------------|---------------------|
| ・・・だと思ふ。思ひます。           | ・・・というのがわたしの意見だ。です。 |
| ・・・していきたい。していきたいです。     | ・・・願っている。願っています。    |
| ・・・ではないだろうか。ではないでしょうか。  | ・・・はずだ。はずです。        |
| ・・・が必要(大切、重要)だと思ふ。思ひます。 |                     |

#### 理 由①

第一の理由は、・・・からだ。からです。なぜなら、・・・からだ。からです。

#### 理 由②

第二の理由は、・・・からだ。からです。それに、・・・ また、・・・

#### 反論に対する意見

- ・・・が、・・・。確かに・・・だ。でも、・・・

## ②本時(国語)

### グループで自分の考えを伝え合う

自分の考えを口にしてみることで考えを明確にさせたいと考え、構成メモを書く前に「意見」と「理由1」を伝え、友達に納得してもらう時間を設けた。これまでの総合的な学習の時間にも、わからないことがあればグループの友達に相談しながら進めてきたので、グループ内の友達がどんなことを投書に書こうとしているか知っている。そこで、本時の伝え合いはグループのメンバーを替え、まだ知らない友達に伝えることにした。そのため、興味をもって友達の話を聞くことができたが、内容についてくわしく知らないので「なるほど、たしかに」と納得した言葉がでにくかった。これまでと同じメンバーで伝え合いをした方が、投書へとまとめていくためには効果的だったと考える。



### 構成メモを書く

構成メモは内容の柱を書くものとして考えていたが、児童はメモというより、伝え合いで語った言葉をそのまま文章にして書いていた。次時に原稿用紙に文章を書く活動を行った時には、メモの内容をふくらませて文章にしていた児童がほとんどだが、中にはメモの文をそのまま写している姿も見られた。児童の思考の流れでは、伝え合うためにメモを書き、メモをもとに伝え合い、それを文章にして原稿用紙に書く流れの方がよかったのかもしれない。

### ③本時後

#### パソコンで原稿を作り、推敲し合う(国語)

投書は不特定多数の方に読まれるものであり、字数制限があるので、何度も推敲が必要と考え、書いた文章をパソコンで入力してから友達同士で推敲し合った。考えが読み手に伝わるように書いているかを確認しながら読み合ったが、わかりにくい文章をわかりやすくするのは難しく、

- ・一文が長い場合は短くすること。
- ・つなぎ言葉を用いているか、文末表現が適切かどうかを確認すること。

この2点を推敲のポイントとした。ポイントを示すことで、字の間違いだけでなく、読み手を意識した推敲をすることができた。何度も直すことになったが、完成した時には満足した表情が見られた。また、実際に新聞に載るのをとても楽しみにしていた。

### 【成果と課題】

#### ①児童の姿から

- ・日々のニュースや出来事に関心をもち、それに対する自分の思いや考えをもつようになった。
- ・グループ内で相談しやすい雰囲気・関係があり、話し合いながら考えることで新しい発見や疑問が生まれた。また、友達からのアドバイスを自分の考えに付け加えた児童もいた。

#### ②テーマについて

- ・タイムリーなことがらを選ぶ児童が多く、新聞やニュースを見て意欲的に取り組むことができた。その反面、政治問題については難しいところもあり、内容が理解できていない児童の姿も見られた。そのため、話し合いの場面では質問や反論がでにくかった。

#### ③資料について

- ・一人一人のテーマや考えをしっかりと把握したことで、それに合った資料を用意することができた。児童によっては、家庭でDVDを見たり、関連する本を借りて読んだりする姿も見られた。特に児童が手に取っていたのが、雑誌「NEWSがわかる」であった。写真やグラフが豊富で、わかりやすく書かれているためだと考える。日常的に紹介したい雑誌である。
- ・政治問題は、記事を書く人の主観なども加わっているため、出典を明確にさせる必要があるとともに、すべてが正しいとは限らないことを知らせることも必要であると感じた。



#### ④情報カードの整理

- ・総合的な学習の時間のメモとしての情報カードと、投書を書くための正確な情報を書く情報カードでは役割が違っていたので、それを整理する時間があると良かった。また、情報が多すぎてどれを取りあげるか困っている児童もいた。総合的な学習の時間と国語の時間をうまくつなぎ、切り替える時間の確保が必要だった。

#### ⑤投書の掲載

- ・実際に新聞に掲載されたところ、地域の方などから多数反響をいただいた。また、下記のようなお礼の手紙をいただき児童はとても喜び、自学で投書を書いてくる児童もいた。自分が書いたものが活字になって多数の人に読んでもらうことの喜びを感じることができた学習活動となった。

#### 「ヤングこだま」欄への投稿のお礼(担当者さんからの手紙より、抜粋)

前略、このたびは本紙「ヤングこだま」欄へご投稿いただき、ありがとうございました。「外国とのつながり」という、タイムリーで話題性もあるテーマでしたので、「青春はつらつ新聞」という形で掲載させていただきました。いずれも小学生らしく素直な気持ちをストレートに表現し、堂々と持論を展開した素晴らしい作品ばかりで、とても感心いたしました。・・・ささやかな記念品(図書カード)を発送いたしましたので、お受け取りください。

### 米朝首脳会談で非核化期待

先日行われた米朝首脳会談を二ユースで見ました。その中でも、「非核化」について話題になったことに、ぼくは心を打たれました。ぼくは、北朝鮮の非核化問題がやつとスタートラインに立ったと思います。

なぜかという、長く敵対してきたアメリカと北朝鮮が初めて会談を行って、新たな関係を築く事ができたからです。北朝鮮は、核開発をやめるという約束をやぶってきました。でも、この会談で、トランプ大統領と金委員長が会話やあく手などをして、親密になったから、きつと大丈夫だと思いません。

アメリカは会談前に完全な非核化をかかげてのぞみました。しかし、会談の中で、非核化の具体的な方法やいつまでということを決められません。そのことを心配する声もあります。でも、北朝鮮は、核実験場を破壊したり、積極的に首脳会談をしたりしているので、ぼくは大丈夫だと思いません。

これから話し合いがもっと前進して、世界から核兵器がなくなっ

### 許されない核兵器の使用

雑誌を見ていたら一つの記事が目にとまりました。それは、シリアの内戦の記事です。見出しには「化学兵器許さない」と書いてあり、私はこの記事について調べてみることにしました。シリアでは、内戦が行われています。その内戦では、化学兵器が使われました。「化学兵器」とは、人や動植物に対して被害を与える、毒ガスなどの兵器です。

私は、化学兵器を使うのはひきようだと思いません。

なぜなら、何の罪もないのに命を失った子供たちがいるからです。化学兵器を使ったことで、呼吸困難になり、十数人の子供が亡くなりました。また、この内戦で35万人が亡くなり、その三分の一が一般人だったそうです。

「遠くの国シリアの内戦は、日本には関係ない」と言う人がいるかも知れません。でも、日本で戦争がおきたら、シリアと同じことになるかも知れません。化学兵器は爆弾と違って、目に見えにくい所がこわいです。

私は、武器や暴力を使わずに話し合いで解決してほしいと思っています。そして、平和で争いのない世界になってほしいです。

### 南北が向き合い戦争終結を

私は、四月二十八日の山陰中央新報の記事を読みました。その記事にあった、「軍事境界線徒歩でこえる」という見出しと、金正恩朝鮮労働委員長と文在寅大統領が手をつないでいる写真を見て、うれしく思いました。

私は、非武装地帯が早く無くなってほしいと思っています。その場所がなくならないと、南北の平和はもどらないと思います。

南北の国境には、非武装地帯があります。そこには、まだたくさん地雷がうまっています。私は、「非武装地帯に春がくると」という本を読んで、地雷がたくさん埋まっていることを初めて知りました。

また、北朝鮮はまだ核兵器を持っているので、いつ戦争がおこるかかわりません。日本にもいつ、ミサイルを飛ばすかわりません。

たしかに、南北がすぐに仲良くなることは難しいと思います。しかし、北朝鮮と韓国が向き合っていくことで、朝鮮戦争が終わると私は思います。

私は、南北が仲良くなり、核兵器がなくなれることを願っています。

### インド代表とホッケー交流

ぼくは「広報奥出雲」を読みました。その中に「奥出雲町、東京オリンピックホッケーインド代表ホストタウンに登録」と書かれていました。ホッケーは奥出雲町の町技です。

ぼくは、ホッケーインド代表に奥出雲町に来て、奥出雲町のおいしいものをたくさん食べてほしいです。そして、奥出雲町の産業である雲州そろばんを知ってほしいです。

なぜなら、インド代表とホッケーを通して交流ができるし、奥出雲町の特産品である仁多米を食べてもらえるからです。それに、奥出雲町の良さをインドの人に知ってもらえるからです。

また、インドの人は数学が得意だと聞きました。だから、雲州そろばんをインドの人にも使ってほしいです。

確かに、オリンピック選手を迎えるのは、十分な準備が必要で大変かもしれせん。でも、ホッケーインド代表が来られるまでまだ時間があるので、いろいろな対応を考えれば良いと思います。

ぼくは、インドの言葉を覚えて、あいさつをしたいです。そして、ホッケー日本代表とインド代表の両方を応援したいです。